

東湊地区防犯協議会（石川県）

【団体の概要】

昭和45年に発足しました。当時は東湊防犯委員会でしたが、平成18年に東湊地区防犯協議会に改称をしました。防犯委員は28名です。私たちの地区は7つの町で構成されており、各地区の世帯数に応じて防犯委員が選出されます。その内5名が青パトを所有しています。

【活動資金】

会の運営費は、各町から年間10万円、支給されています。内訳は青パトのガソリン代として1台につき年1万2000円、5台で6万円が使われています。残りは防犯委員の保険代、通信費等に充てています。

【活動内容】

主な活動は小学校の児童の見守り活動です。入学式終了後間もなく、学校で子供達の前に防犯委員が並び、顔と名前を覚えてもらう対面式を行っています。会長が挨拶をし、児童会からは「見守り活動をよろしくお願いします。」という言葉もらっています。

交通安全教室も行っています。もちろん警察官の指導で行っていますが、私達も協力をして、自転車の乗り方、横断歩道の渡り方を指導をしています。

通学路での見守り活動は、毎日行っています。通学路に立って子供達と挨拶を交わしながら登下校を見守っています。毎日続けておりますと、子供達から色々な言葉を掛けられます。私が見守り活動を休んだ次の日に子供から「昨日どうして休んだの?」と尋ねられたこともあり、子供達と会話をしていると、子供達を見守っているはずが、逆に私たちが子供達に見守られているようにも感じます。また、見守り活動のほか、子供達の安全を確保するための環境にも配慮しています。例えば、通学路沿いに草が生い茂っていると、子供達が歩道を歩けず車道を歩いたり、周囲からも子供達の姿が見えにくく危ないので、地域の人たちに声を掛けて協力してもらい、通学路の草刈りを年3回行っています。他に、通学路沿いに川があり、子供達が飛び越えたりのぞいたりして遊ぶ姿を見かけていたのですが、流れが速く、雨で増水することもあるということで、子供達に注意するとともに、行政にガードレールの設置を依頼した結果、10日後にガードレールが設置され、



団体の概要

- 発足 昭和45年頃
- 歴史 平成18年に東湊地区防犯協議会に改称
- 人数 28人(5名が青パト)
- 主な活動内容 子供の見守り活動
- 活動日 平日朝夕2回、夏休み期間等
- 青パト活動回数 692回(平成28年度中)

和倉温泉PRキャラクター
わくたまくん



活動状況



通学路の見守り活動

子供達の安全を確保することができました。暗い場所に街灯を設置するようお願いすることもあります。

夏休み期間中には、薄暮パトロールも行っています。夏休みになると子供達は夜遅くまで遊びたがるため、暗くなる時間帯に青パトでパトロールをして、早く帰るよう一声を掛けています。パトロールをしていても子供の姿が見当たらなかったことがあったのですが、付近の住民の方から、子供達が「青パト来るから帰らないといけない」と言って帰った、と聞いて、地道に毎日続けている活動が実を結んでいると感じています。

青パトは、地元の警察署長、交番員の方、小学校の校長先生、各町会長さんに出席いただき、出発式もやっています。活動に理解が得られており、嬉しく思います。

10月の全国地域安全運動にあわせて、警察の方と一緒に鍵掛け指導パトロールも行っています。年ごとに回る地区を決めて、鍵掛けや、特殊詐欺への注意を呼び掛けています。住民の中には、過去に、玄関の鍵をかけないまま自宅で寝ていたところ、入ってきた泥棒と鉢合わせになったという経験をした方もいますが、最近では鍵掛けに対する地域のみなさんの意識が高まってきていると思います。

他にも、防犯委員ではない一般の方から、子供達に声を掛けていた不審車両の情報が届いたり、子供から「将来おまわりさんになりたい」という頼もしい志を告げられたり、子供達から感謝の手紙をもらったりと、地道に活動していることが少しずつ地域に浸透しているのだと感じています。

これからも、地域の方々、子供達から、一層信頼されるよう、そして少しでも長く活動を続けていきたいと考えています。

